

## コロナワクチン接種後について

梅雨の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素はひとかたならぬ御愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

各施設、6月初旬より順次ワクチンの接種が始まっております。入居者様と同じタイミングで職員の接種も進んでおり、長く我慢の生活を強いられおりました入居者の皆様にも光が差し込んでまいりましたが、まだまだ、研究の段階であり、多くのことが解明されていないのが現状です。ワクチン接種は、感染を100%抑えられるものではなく、重症化と発症を抑える可能性が高いものとされています。

コロナワクチンは「1回目のワクチン接種から免疫が働くまでには10日間から2週間はかかるとみられ、それまでは免疫応答は何も出ておらず、感染防御能はまずありません。そこから少しずつワクチンの効果が出てきます。2回目の接種から1週間ぐらいして中和抗体ができることで発症や重症化を抑える強い免疫になります。一方で、ワクチンは2回接種したとしても必ずしも100%感染を抑えるわけではないので安心して元通りの生活ができるのか判断が難しいところでもあります。

臨床試験で発症を予防する効果が95%程度などと高いことが確認されていますが、それでも発症の可能性が完全になくなるわけではありません。さらに、ウイルスの感染を防ぐ効果があるかどうかははっきりわかっておらず、ワクチンによって症状が出るのを抑えられたとしても、ウイルスに感染している可能性はあり、対策を取らないとまわりに感染を広げてしまう恐れがあります。

家族様より。ワクチン接種が終われば制限なしに面会できるのではないかという旨の質問が施設へ入ってきております。我々といたしましても面会制限をなくしいつでも誰でもお越しいただきたいところではありますが、厚生労働省や県や市からの指示を順守し、段階的に制限の緩和を行っていく所存でございます。面会制限の緩和を行いましても、引き続き感染予防の実施は現状と変わらず行ってまいりますので、面会にお越しになられる家族様や関係者の皆様にも、検温・うがい・手洗・手指消毒を行っていただいたうえで、マスク着用とフェースシールドの着用をお願いさせていただきます。

まだまだ課題はありますが、何もしていない状態よりは感染のリスクは下がっていることは喜ばしいことです。日本国民の大勢の方々がワクチンを接種することで、感染のリスクは下がります。家族様におかれましても随時接種していただければ、さらにリスク低下となり、通常の生活に戻れるようになるかと思えます。

入居者様、職員のワクチン接種が終了いたしましたら、面会制限の緩和を随時行ってまいりますので、追ってご連絡申し上げます。ご理解とご協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。